

## 第 69 回部門委員会

2019 年 2 月 25 日；龍谷大学大阪梅田キャンパス

2 題の講演と討議を行った。

1) 機械・構造物における最近の低サイクル疲労損傷事例から学ぶことー問題を複雑化している種々の重畳問題

(株)コベルコ科研 ○横幕俊典氏, 中本久志氏

横幕氏には, 土木・建築構造, 自動車部品, 航空機部品に関連した低サイクル疲労損傷事例を取り上げ, どのような力学的・材料的要因が関わったかを分析し対策に言及していただいた。

2) ボルトの力学と強度設計 (第 2 回)ーボルト締結体の静的強度と疲労強度

神戸大学 名誉教授 福岡俊道氏

福岡氏には, 第 2 回目として, ねじ山荷重分担率, ねじ谷底の応力集中と塑性変形が主に支配する静的強度に加えて, 破損の最大の原因である疲労破壊の発生メカニズムとその具体的な防止方法について解説いただいた。

なお, 第 69 回委員会では, 強度と安全の問題に関係している他の部門委員会にも参加を呼びかけ, 疲労部門委員会, 信頼性工学部門委員会, 破壊力学部門委員会, 高温強度部門委員会からの参加を得た。

今後も, 学術研究と強度設計, 安全性評価の実務とをリンクさせることを目的に, 過去の破損事故事例の紹介に限らず, 新しい視点からの強度設計や安全性評価に関わるアプローチ, 規格基準などの紹介などを含め, 連携・情報交換の場にしたいと考えている。